

平成30年度 職員自己評価集計表

1 教育・保育理念

乳幼児期は、人間として心と身体の基本のできる大切な時期です。子供達は人として尊ばれ、社会の一員として重んぜられ、育てられるように、よい環境のなかで保育をします。

保育方針

健全な心と身体の発達を促す保育を実施します。

保育目標

自然を大切に親しむ 人の話を聞いて理解する 自分で考えて行動する
 たくましい心と身体をつくる 挨拶ができる

2 自己チェックリスト

十分できている4 ほぼできている3 やや不十分である2 不十分である1

正規保育教諭16名分		自己評価時期		
		6月	11月	2月
1	保育理念目標を理解し、説明できるか	2.8	3.0	3.1
2	子供が快適に過ごすための環境が整っているか	2.9	2.9	3.1
3	子供の意欲を高めるような遊びの準備や配慮ができていますか	2.8	2.9	3.1
4	見通しをもった保育をしているか	2.6	3.0	3.2
5	子供の思いを大切にしながら関わっているか	3.1	3.2	3.2
6	子供にわかりやすい温かな言葉づかいで穏やかに話しているか	2.9	2.9	3.0
7	自分を表現する力が十分でない子供の気持ちを汲み取っているか	2.8	2.9	3.0
8	制止・禁止語を不必要に用いていないか	2.9	3.1	3.0
9	甘えてくる子供に対し、適切な関わりをもっているか	3.0	3.3	3.3
10	子供が安心して話したくなるような雰囲気をもっているか	2.8	2.9	3.0
11	子供の発する様々なサインを見逃さずに対応できているか	2.4	2.9	3.0
12	遊びに入れない子供への関わり等、集団全体に気を配っているか	2.8	2.9	3.0
13	子供同士の関係をより良くするような言葉がけができていますか	2.9	3.0	3.0
14	喧嘩の仲裁には双方の思いを大切にしてお互いに対応しているか	2.9	3.3	3.3
15	子供の社会性の獲得を促す関わりを持っているか	2.8	3.1	3.1
16	子供が手伝いをしたり友達を助けたり、協力しあうような姿がみられるか	3.0	3.1	3.3
17	突発的な状況に対して適切な対応ができていますか	2.7	2.9	3.1
18	自分自身は楽しんで保育できているか	3.0	3.2	3.2
19	保育教諭間の信頼関係ができていますか	2.9	3.1	3.1
20	クラス単位で保育計画や振り返りが共有されているか	2.8	3.1	3.0
21	クラス単位、園全体で職員それぞれが役割を理解し、適切に動いているか	2.8	2.9	3.0
22	ＹＹプロジェクトについての理解はできていますか	2.8	2.8	2.9
23	季節の歌を子供達と一緒に歌ったりピアノ演奏ができるか	2.8	2.9	3.2
24	アレルギーをもつ子供への対応は適切に行われているか	3.0	3.1	3.1
25	子供の最善の利益を考慮し、その福祉を積極的に増進しているか	2.8	3.1	3.0
26	ひまわりルームでは担当以外の職員も来園者と積極的に関わっているか	2.8	3.0	3.1
27	地域の学校、子育て支援ネットワーク等の団体と交流できているか	3.5	3.6	3.6

3 評価結果について

年度当初の自己評価結果に基づき、一年間を通した資質向上計画を立てて必要な研修OJTで意識して取り組む事項を保育教諭、主幹保育教諭、園長で共有し、進捗を管理していることもあり、それぞれの評価項目で年度の後半にかけて評価が上昇している。

4 今後取り組むべき課題

3歳以上児が取り組むYYプロジェクト（毎日短時間ずつの本読み、文字書き、数字、ピアノ、かけっこ、体操）への理解が3歳未満児を担当する正規・非正規の保育教諭に及ぶよう、異年齢児クラスの交流や、各種行事を通して理解する意識を高めてもらったり、職員会議・園内研修で啓発を図る。